

緊急対策第1弾 4月24日提案 (4月臨時補正 約35億円)

中小企業者に低金利の融資制度を活用いただくための金融機関への預託金や利子補助金を増額
保育施設、放課後児童クラブなどへの衛生用品の追加配備 など

緊急対策第2弾(5月臨時補正予算5月14日提案 約197.1億円)

国の緊急経済対策、市の財政調整基金を活用して、①市民のいのち、②市民の暮らし、③こどもの教育環境、④地域経済を守り、支える、本市独自の取り組みを実行します。

緊急対策第3弾 6月8日提案 (6月補正予定)

切れ目のない対策を実行していくため、追加の対策等について6月定例市議会に提案予定

1 市民のいのちを守る

約5,843万円

感染症対策推進事業費 (4,951万円)

発熱・帰国者・接触者相談センターでの相談体制の強化
ドライブスルーPCR検査実施及び感染拡大による検査の増加への対応

鳥取市新型コロナウイルス拡大防止支援金 (300万円)

市の協力依頼に応じて、店舗名等の公表等に同意した事業者に対する協力金
風評被害により経営に影響を受けた事業者に対する支援金
・30万円×10件

避難所用衛生用品購入事業費 (394万円)

避難所の開設が必要となった際の感染症対策として、必要な衛生用品を購入
(マスク、アルコール消毒液など)

など

2 市民の暮らしを守る

約190億6,435万円

特別定額給付金事業費 (187億5,210万円)

迅速かつ的確に家計への支援を行うため、全市民を対象に一律10万円を支給
・対象人数：186,300人想定

子育て世帯への臨時特別給付金事業費 (2億9,575万円)

児童手当受給者へ対象児童1人につき1万円を支給
・対象児童数：26,000人想定

生活困窮等包括的支援事業費 (1,650万円)

離職または離職と同程度の状況にあり、住居を失うおそれのある生活困窮者の
毎月の家賃額を支給
自立相談支援機関の支援体制を強化

3 こどもの教育環境を守る

約5,520万円

ICTを活用した学校教育活動支援事業 (4,041万円)

インターネット環境が整備されていない家庭におけるWi-Fi環境整備の支援
・補助上限1万円×1,335人
家庭学習を支援するデジタル教材(5教科)のアカウントを全児童生徒に配布
ICTスクールサポーターによる環境整備の促進

衛生管理費 (1,479万円)

小・中・義務教育学校に、消毒液・非接触体温計等の衛生用品の追加配備

4 とっとりの経済を支える

約5億3,540万円

鳥取市中小企業者経営持続化給付金 (5億円) 基金事業

市内の中小企業者に対し、事業継続のため給付金を支給
・30万円×1,600件(対象:売上が前年同月比30%以上50%未満減少)

飲食店緊急応援キャンペーン事業費 (3,000万円)

テイクアウトを中心に使用できる割引券を発行及び換金する事業を助成
・販売時期 第1弾 6月～(利用期限7月未まで、定価4割引で販売)
第2弾 7月～(利用期限9月未まで、定価2割引で販売)

鳥取市タクシー代行サービス支援事業 (540万円)

市内のタクシー事業者が実施する、テイクアウト等の受け取り代行サービスに要する料金を助成
飲食店舗等の販売促進及び外出自粛を余儀なくされている市民生活を支援
・利用者自己負担300円程度、補助上限2千円/件

その他の
取り組み

融資などの手続き時の証明書発行手数料の無料化

中小企業者等が金融対策の融資制度を受ける場合や個人が生活福祉資金等を受ける場合に必要となる証明書について発行手数料を無料化

ビジネスマッチング支援事業補助金の対象拡大

飲食業等が考案された持ち帰りメニューの情報発信など地域で連携する新たな事業展開に対して支援

資料 3

鳥取市新型コロナ緊急対策パッケージ 第3弾

～市民生活と地域経済を守り、支え、とっどりの明日を切り拓く～

緊急対策第1弾 4月24日提案 (4月臨時補正 約35億円)

中小企業者に低金利の融資制度を活用いただくための金融機関への預託金や利子補助金を増額
保育施設、放課後児童クラブなどへの衛生用品の追加配備 など

緊急対策第2弾 5月14日提案 (5月臨時補正 約197.1億円)

相談体制の強化、特別定額給付金(一律10万円)の支給、学校への衛生用品の追加配備、事業に影響が出ている中小企業者・飲食店・タクシー事業者への支援 など

緊急対策第3弾

6月補正予算(6月8日提案 先議分) 約108.4億円

地方創生臨時交付金を活用し、①市民の安全・安心を確保し、②地域経済を支え、③とっどりの明日を切り拓く、切れ目のない、本市独自の取り組みを実行します。

1 市民の安全・安心を確保する (感染防止、第2波への備え)

保健所、医療機関の体制強化

- ・感染予防の広報やドライブスルーPCR検査の実施 1,197万円
 - ・市立病院の医療提供体制や感染症患者受入体制の充実 1,427万円
- など

福祉事業所や公共交通機関の感染防止対策への支援

- ・介護サービス事業所の衛生用品や面会用タブレット配備などへの支援 4,430万円
- ・障がい福祉サービス事業所の衛生用品配備や布マスク製作などへの支援 1,727万円
- ・バスやタクシーなど公共交通機関の衛生用品配備への支援 275万円

災害等への備え (避難所の感染防止対策)

- ・指定避難所等の感染防止のための衛生用品や間仕切り等の追加配備 1,637万円
- など

2 地域経済を支える

市内中小企業者への支援

- ・雇用調整助成金等の代行申請手数料を支援(補助率2/3、上限10万円) 2,000万円
- ・低金利の融資枠拡大のための金融機関への預託金の増額(62億→96億→186億円) 90億円

市内製造業の雇用維持への支援

- ・雇用維持のための新規事業や市内に拠点を移転する取り組みへの支援 (従業員20人以上で売上20%以上減を対象、補助率1/3、①新規事業のための投資:上限5,000万円、②市内への拠点の移転:上限1,000万円) 2億円

市内施工業者の需要拡大

- ・市内施工業者を利用した個人住宅リフォームへの支援(補助率2/10、上限20万円(子ども、障がい者、高齢者がいる世帯は上限30万円)) 4,052万円

職員の採用による新たな雇用創出(6月補正22人、5月臨時から通算40人)

3 とっどりの明日を切り拓く (将来を見据えた地方創生)

とっどりの将来を担う、子どもたちの暮らしを支える

- ・ひとり親家庭(児童扶養手当受給世帯)を対象に市独自で世帯当たり3万円を給付 5,650万円
 - ・子ども食堂が行う利用世帯へのテイクアウト弁当引換券の配布や訪問型見守り活動を支援 934万円
- など

文化、芸術の振興

- ・民間ミュージアム等の入館チケットを購入して観光客等へ提供 450万円
- ・インターネットを活用した文化芸術団体の活動公開への支援 636万円

地域の魅力発信、観光需要の喚起

- ・市内宿泊施設を利用した観光客へ抽選で地元産品をプレゼント 300万円
 - ・宿泊キャンペーンの展開や観光プロモーション動画の作成 6,039万円
 - ・観光事業者が取り組む事業回復や感染予防対策への支援(新たな商品開発、施設消毒・改装等 補助率4/5、上限20万円 など) 1,000万円
- など

将来を見据えた新たな取り組みの展開

- ・小中義務教育学校の全児童生徒への1人1台の学習端末の整備 7,877万円
 - ・ICTを活用したアストロパークの星空映像提供や出前授業の充実 331万円
 - ・図書館の衛生環境や蔵書の充実と貸出拠点(コンビニ)の拡充 1,107万円
- など

適切な情報発信

- ・新型コロナウイルス感染症対策の積極的かつタイムリーな情報提供 1,093万円

鳥取市 未来づくりプロジェクト

第1弾 4月24日提案、可決 (4月臨時補正 約35億円)

中小企業者に低金利の融資制度を活用いただくための金融機関への預金金や利子補助金を増額、保育施設・放課後児童クラブなどへの衛生用品の追加配備 など

第2弾 5月14日提案、可決 (5月臨時補正 約197.1億円)

相談体制の強化、特別定額給付金(一律10万円)の支給、学校への衛生用品の追加配備、事業に影響が出ている中小企業者・飲食店・タクシー事業者への支援 など

第3弾 6月8日提案、10日可決 (6月補正 約108.4億円)

保健所・医療機関の体制強化、福祉事業所などの感染防止支援、災害への備え、中小企業・製造業・施工業者への支援、将来を見据えた地方創生(子ども食堂、ミュージアム支援、観光V字回復、GIGAスクール等) など

緊急対策 第4弾(7月15日提案)

7月臨時補正予算 約39.1億円

第2次地方創生臨時交付金などを活用し、①市民生活と地域経済を守り、支え、②明日を切り拓く、切れ目のない、本市独自の取り組みを実行します。(6月豪雨災害復旧事業含む)

1 市民生活と地域経済を守り、支える

①感染防止を徹底します

- ・駅南庁舎など健診会場等、地区公民館への衛生用品等の追加配備 449万円
- ・小中義務教育学校、放課後児童クラブ、保育園などへの衛生用品等の追加配備 9,738万円
- ・感染防止のため店舗名等の公表等に同意した事業者に対する協力金 300万円
- ・市立病院へのPCR検査機の導入と重症者受入のための病棟改修(企業会計で外数) 2,568万円

②市民生活を守ります

- ・県外に進学した学生へふるさと宅配便で市内農産物を提供(市議会予算を減額して財源に活用) 2,400万円
- ・低所得のひとり親世帯の生活を支援する国の臨時特別給付金を支給 2.4億円
- ・特別定額給付金の対象とならない新生児を対象に本市独自で1人あたり10万円を支給 1.4億円
- ・生活困窮者自立相談支援の拠点である中央人権福祉センターの相談体制の強化 340万円

③事業継続を支えます

- ・生産活動収入が減少している就労継続支援事業所を支援 3,780万円
- ・利用者減のなか市民の移動手段確保のため運行継続している路線バス事業者を支援 2.2億円

2 明日を切り拓く(将来に向けた地方創生、アフター・コロナへ向けて)

①新たな暮らし、環境を整備します

【3密対策など社会環境の整備】

- ・市役所窓口等の3密防止のための床シートやパーティション等の配備 262万円
- ・避難所の換気や熱中症対策に必要な資機材の配備 3,584万円
- ・3密に配慮した活動促進と健康維持増進のため屋外の公園に健康器具系施設を設置 4,000万円

【教育施設などでの健康管理】

- ・児童生徒の健康管理を行うための全小中義務教育学校へのサーマルカメラ等を配備 6,202万円
- ・さじアストパーク、仁風閣、やまびこ館などにタブレット型体温測定器等を配備 416万円

【新たな生活に対応する児童生徒への支援】

- ・修学旅行のキャンセル料が発生する場合に保護者への経済的負担を軽減 1,656万円
- ・生活の変化に伴う児童生徒の心の不安に寄り添う児童生徒相談員の増員 558万円

③全市ひかり化で新たな地域づくりを進めます

- ・市内全域において超高速通信網(光回線)を整備(令和3年度末までに全線開通) 21.7億円
- ・オンライン移住相談の環境整備と利用者モニターの募集 111万円
- ・来庁者の滞在時間を減らし混雑を緩和するための窓口手続き申請システムの導入 3,973万円
- ・農業者、林業事業者、漁業組合員に対してICT機器等先端技術の導入を支援 1.3億円
- ・道路や水路などの破損状況を自治会がオンラインで通報・状況確認できるシステムの整備 1,080万円

②新たな付加価値を生み出します

【地域資源の活用と発信】

- ・麒麟のまち圏域のパートナーシップPRや「新しい生活様式」を周知するステッカー等の作成 429万円
- ・ガイナレ鳥取のホームタウンデイに合わせて555人(Go!Go!Go!)にチケット無料配布 193万円

【多様な主体の連携促進】

- ・収入を失った学生と人手不足の農業現場とのマッチングと学生アルバイト代の一部支援 650万円
- ・食品ロス削減に協賛する企業等からの寄附食材を生活困窮者へ配布する活動を支援 237万円
- ・市内複数の業者が連携して取り組むキャンペーン等の売上回復に資する事業を支援 4,000万円
- ・交通事業者等が連携して取り組むスタンプラリーなど公共交通の利用回復事業を支援 528万円

【新たな雇用や価値の創造】

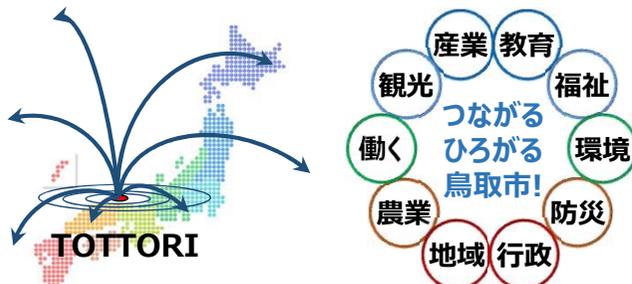
- ・経営に打撃を受けた市内製造業の新たな取り組みに対して支援 4億円
- ・地方へオフィス移転を検討する事業者の視察や滞在経費また移転に伴う改修経費を支援 3,000万円

【打って出る販売促進と観光需要の喚起】

- ・麒麟のまち関西情報発信拠点における関西圏での販売促進キャンペーンの実施 680万円
- ・「とっとり市」の再開に合わせた利用促進キャンペーンを実施(送料無料、30%OFFクーポン等) 1,132万円
- ・砂の美術館で展示テーマに合わせた3Dプロジェクションマッピングを実施 1,760万円
- ・観光事業者等が取り組む地域資源の掘り起こしや磨き上げに資する事業を支援 1,000万円

※主な事業を掲載

R2.7.8 鳥取市



TOTTORI